

平成20年学術委員会会議議事録

平成20年6月10日

学術委員会（研究班班長・会計・学術部理事）

場 所；京臨技川端丸太町事務所

時間；19：00～20：40

出席者

○理事；今井、白波瀬、石澤、荻野、丹羽、山方、芦田

○研究班班長・会計；小野（微生物）、佐伯・吉岡（一般）、相田（輸血）、増田（情報）、四方・高見（北部）、林（血液）、辻・今川（生理）、林・川邊（細胞）、江口・神崎（病理）、臨床化学（下川原）、免疫血清（荒賀）

議長；荻野

書記；芦田

議題：①会計処理

②生涯教育登録

③学術企画運営の流れ

④精度管理の報告会について

⑤近畿学会の取組み

⑥その他

議事進行の内容

今井会長挨拶

丹羽理事 会計フローチャートの説明

昨年度からの変更はない

今年度の取組みは節約を考慮するも、学術活動については積極的にやりたい。

学術活動を抑える事は考えていない。

質問：主催・共催・協賛などの具体的な対応について。

メーカー学術部の講師講演料の扱いについて

特記：会計内規の配付資料が一昨年の内規なので、改めてHP上でもダウンロード可能、または、新規に配付することを約束した。

林理事 生涯教育の登録について

学術部講演の企画申請の流れを説明

日臨技ガイドラインを熟知して申請をお願いします。

質問：行事予定表に生涯教育点数の分類の記載を希望

報告書のソフトに関する事・・・テキスト形式かワード対応か

特記：企画書などの一連の流れを HP 上でダウンロード出来る雛形の用意を約束した。

荻野学術部長

合同精度管理報告会についての各研究班班長の意見を聞いた後に、取組みたい。

意見：賛成の考えであるが、内容については検討する必要がある。

賛成だが、各研究班の質疑応答の時間配分は確保されるのか。

小病院としては色々な研究班の精度管理報告を聞きたい。

別の講演会も一緒に企画しているので賛成しない。

企画が大変、時間配分を考慮すべき。

出席数が少ないので合同報告会は賛成。

合同報告会を開催しても、関係者のみで結局同じではないか？

一日開催では時間的に無理ではないか。

研究班によって内容が違うため、先細りにならないか。

会員のニーズに合っているのか。(合同でする事が)

その他(合同報告会よりも学会形式)、技師会のあり方、コアにする精度管理

石澤 副会長

精度管理号発行の廃止をして違うメディアで対応したい。

小澤総務部長

行事予定表についてもHPで対応し、配付の減数を考えている。

近畿学会の取組み

荻野学術部長

兵庫県で開催される近畿医学検査学会への一般演題の協力

京都での近畿医学検査学会に向けての協力のお願い。

その他

暮らしと健康展で使用した採血穿刺針についての報告、平成14年以降の問題はありません。

文責 芦田 英之